

8 日本参加青年の事前研修及び出航前研修

(1) 日本参加青年に対する事前研修

日本参加青年の選考試験に合格した39名に対し、8月6日から8月11日までの6日間、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて事前研修を行った。

この研修は、本事業の効果的な目的達成を図るため、日本参加青年に事業の趣旨及び目的を十分に理解させ、PYとしての心構えを養い、東南アジアについての認識と理解を深めさせることを目的として、合宿形式により実施された。

日本参加青年は、定められた日程に従い、船内及び訪問国における活動について、既参加青年の説明を受けるとともに、海外渡航のための手続に関する説明などを受

けた。さらに、船内諸活動の役割分担の決定と準備事項の確認、YL及びAYLの互選、ディスカッション活動・事後活動セッションに向けての準備などを行った。

事前研修の結果を踏まえ、日本参加青年を最終的に決定し、38名に対して研修修了時に参加決定証を交付した。

(2) 日本参加青年に対する出航前研修

最終的に事業に参加することになった日本参加青年38名に対し、10月20日から23日までの4日間、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて出航前研修を行った。

日本参加青年は、この研修において船内及び訪問国における諸活動のための最終準備を行った。



ディスカッションで様々な意見の伝え方、聞き方を練習する (8月9日)



足立文彦先生による講話「ASEANと日本のパートナーシップ」(8月9日)



石川幸子先生による講話「日本人として国際舞台で活躍するために」(8月9日)



事前研修を修了し、正式に参加が決定した日本参加青年 (8月11日)

第3章

日本国内活動



1 日本国内活動日程

(1) 日本国内活動日程

月日	時間	活動内容
10月23日 (月)		<ASEAN各国ナショナル・リーダー (NL)、参加青年 (PY)、ホストファミリー代表者> 成田国際空港・羽田空港到着
	6:45	カンボジア (NH-818) 成田国際空港
	6:50	ミャンマー (NH-814) 成田国際空港
	7:40	マレーシア (MH-088) 成田国際空港
	8:00	ベトナム・ホストファミリー代表者 (VN-300) 成田国際空港
	8:10	ラオス (TG-642) 成田国際空港
	8:50	インドネシア (GA-874) 羽田空港
	9:50	ブルネイ (JL-038) 羽田空港
		内閣府へ移動後、到着オリエンテーション ホテルニューオータニ東京へ移動
	15:00	フィリピン (NH-820) 成田国際空港
15:05	ベトナム (VN-384) 羽田空港	
16:20	シンガポール (JL-712) 成田国際空港	
16:25	タイ (JL-708) 羽田空港	
	ホテルニューオータニ東京へ移動後、到着オリエンテーション ホテルニューオータニ東京泊	
		<日本参加青年> 出航前研修 国立オリンピック記念青少年総合センター泊

月日	時間	活動内容
10月24日 (火)	8:15	<日本参加青年> ホテルニューオータニ東京へ移動
	9:00-11:00	<各国NL、PY、ホストファミリー代表者> オリエンテーション (於 ホテルニューオータニ東京「鳳凰の間」) ・ 駒形健一管理官挨拶 ・ 各国NL、PY紹介 ・ 各国ホストファミリー代表者紹介 ・ 管理部員紹介 ・ 日本国内活動説明 ・ ソリダリティ・グループ (SG) 別ミーティング
	11:15-11:45	<ホストファミリー代表者> 内閣府青年国際交流担当室長表敬訪問 (於 ホテルニューオータニ東京「椿の間」) ・ 和田昭夫内閣府青年国際交流担当室長挨拶 ・ 感謝状、記念品贈呈 ・ 記念撮影
	12:00-12:30	<各国NL、PY、ホストファミリー代表者> 参集式 (於 ホテルニューオータニ東京「鳳凰の間」) ・ 黙祷 (平成13年度事業におけるブルネイでの事故被害者の冥福をお祈り) ・ 松山政司内閣府特命担当大臣挨拶 ・ PY代表Mr. Muhammad Hanis Bin Haji Osman (ブルネイYL) 挨拶 ・ 記念品交換
	13:00-14:30	歓迎レセプション (於 ホテルニューオータニ東京「鳳凰の間」) ・ 松本文明内閣府副大臣挨拶 ・ 幸田徳之内閣府審議官乾杯挨拶 ・ 記念撮影 ホテルニューオータニ東京泊
	15:00	<ホストファミリー代表者> ホームステイへ出発 (2泊3日)
	18:00-18:20	<各国NL、YL、AYL> 安倍晋三内閣総理大臣表敬訪問 (於 内閣総理大臣官邸) ・ PY代表Mr. Ar Man (ミャンマーYL) 挨拶 ・ 安倍晋三内閣総理大臣挨拶 ・ 記念撮影
10月25日 (水)		<各国NL、PY> 地方プログラム (4泊5日、詳細は(2) 地方プログラム日程を参照) ・ 宮城県 (SG-A) ・ 栃木県 (SG-B) ・ 群馬県 (SG-C) ・ 新潟県 (SG-D) ・ 福井県 (SG-E) ・ 長野県 (SG-F) 10月29日 (日)
		・ 三重県 (SG-G) ・ 大阪府 (SG-H) ・ 徳島県 (SG-I) ・ 長崎県 (SG-J) ・ 北九州市 (SG-K)
10月26日 (木)		<ホストファミリー代表者> ホームステイから帰京 都内視察 ホテル日航成田へ移動 ホテル日航成田泊

月日	時間	活動内容
10月27日 (金)	9:30 10:30 10:50 11:00 11:10	<ホストファミリー代表者> 成田国際空港から帰国 フィリピン (PR-431)、ベトナム (VN-301) マレーシア (MH-089) タイ (TG-641) インドネシア (GA-881) シンガポール、ブルネイ (SQ-637)
10月28日 (土)	8:00 8:35 8:40 8:45 8:50	<ファシリテーター> 成田国際空港・羽田空港到着 DG6 (SQ-638) 成田国際空港 DG3 (JL-774) 成田国際空港 DG5 (NH-808) 成田国際空港 DG2,8 (NH-804) 成田国際空港 DG7 (GA-874) 羽田空港 国立オリンピック記念青少年総合センターへ移動後、オリエンテーション、船内ディスカッション活動準備 国立オリンピック記念青少年総合センター泊
10月29日 (日)	19:00-19:30 19:45-21:00	地方プログラムから帰京、国立オリンピック記念青少年総合センターに到着 全体オリエンテーション (於 国際交流棟国際会議室) ディスカッション・グループ (DG) ミーティング 国立オリンピック記念青少年総合センター泊
10月30日 (月)	9:00-17:00 19:45-21:00	課題別視察 (DG別) DG1: 国際労働機関 (ILO) 駐日事務所、独立行政法人日本貿易振興機構 DG2: YouTube Space Tokyo、Yahoo! Japan x Youth Create DG3: 国際機関日本アセアンセンター、特定非営利活動法人開発教育協会 DG4: 株式会社タニタ総合研究所 DG5: 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GIFT)、東洋大学 DG6: 特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク、特定非営利活動法人キッズドア DG7: 三井不動産株式会社 DG8: 株式会社ボーダレス・ジャパン ソリダリティ・グループ (SG) ミーティング 国立オリンピック記念青少年総合センター泊
10月31日 (火)	9:15-9:45 10:00-11:30 19:15-20:45	チェックアウトオリエンテーション (於 カルチャー棟大ホール) 基調講演 (於 カルチャー棟大ホール) 講演者: ERIKO氏 (モデル、定住旅行家) 交流の夕べ (於 国際交流棟レセプションホール) ・ PY代表 Mr. Pattaguan, Jezreel Malamug (フィリピン YL) 挨拶 ・ 駒形健一管理官乾杯挨拶 ・ 実行委員パフォーマンス 国立オリンピック記念青少年総合センター泊

月日	時間	活動内容
11月1日 (水)	7:30-8:30	チェックアウト
	9:30-10:15	<各国NL、YL、AYL> 秋篠宮同妃両殿下御引見 (於 秋篠宮邸)
	9:30-12:00 13:30-14:30 15:00-16:00 17:30-18:00	国別ミーティング 全体オリエンテーション (於 国際交流棟国際会議室) 東京港へ移動、にっぽん丸に乗船 船側オリエンテーション (於 ドルフィンホール) にっぽん丸泊
	11月2日 (木)	7:30-8:00 9:30-10:30 10:45-12:00 13:30-14:45 15:15-15:40 16:00

(2) 地方プログラム日程

①宮城県 (SG-A)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	12:36-14:37 16:00-16:30 18:45	東京駅から仙台駅へ移動 (やまびこ51号) 宮城県庁表敬訪問 ・ 後藤康宏宮城県環境生活部長挨拶 ・ 所司圭穂理 (日本NL) 挨拶 ・ 記念品贈呈 ・ 記念撮影 オリエンテーション・夕食 メルパルク仙台泊
10月26日 (木)	10:00 12:40-17:10 18:30	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 石巻市復興まちづくり情報交流館訪問 ・ 語り部佐藤茂久氏の講話 石巻専修大学訪問 ・ 地元青年との昼食交流会 ・ 青年の取組についてのプレゼンテーション ・ 意見交換 ・ 記念撮影 夕食 ホテル牡観泊
10月27日 (金)	9:30 13:00-13:50 14:45-16:10 18:05-20:00	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 地元青年と交流・松島散策 遊覧船乗船 かまぼこの鐘崎七夕ミュージアム訪問 歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (於 メルパルク仙台) ・ 岡本奈津美宮城県受入実行委員長挨拶 ・ 吉田直宮城県環境生活部次長挨拶 ・ 伊勢みゆき宮城青年国際交流機構会長乾杯挨拶 ・ PYによるパフォーマンス ・ 記念撮影 ・ 地元青年によるパフォーマンス (よさこい演舞) ・ ホームステイ・マッチング
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	11:40 12:44-14:48 16:30	仙台駅集合 仙台駅から東京駅へ移動 (やまびこ140号) 国立オリンピック記念青少年総合センター着



後藤康宏宮城県環境生活部長を表敬訪問する (10月25日)



石巻市復興まちづくり情報交流館を見学する (10月26日)

②栃木県 (SG-B)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	13:00-13:49 14:50-15:50 16:00-17:15 18:30	東京駅から宇都宮駅へ移動 (やまびこ139号) 栃木県庁表敬訪問 ・ 和田裕二栃木県県民生活部長挨拶 ・ Mr. Phann Sophea (カンボジアNL) 挨拶 ・ 記念品交換 ・ 記念撮影 日本茶体験 (於 とちぎ国際交流センター) オリエンテーション・夕食 宇都宮グランドホテル泊
10月26日 (木)	9:20-12:00 12:30-17:10	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 日光東照宮訪問 日光江戸村訪問 宇都宮グランドホテル泊
10月27日 (金)	9:30-16:30 19:10-21:00	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 宇都宮大学訪問 ・ Mr. Phann Sophea (カンボジアNL) 挨拶 ・ 授業見学 ・ 施設見学 ・ 昼食 ・ 学生とのディスカッション 歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (於 宇都宮グランドホテル) ・ 熊倉百合子栃木県受入実行委員長挨拶 ・ Mr. Phann Sophea (カンボジアNL) 挨拶 ・ 小堀哲生栃木県県民生活部人権・青少年男女参画課長乾杯 ・ PYによるパフォーマンス ・ 記念撮影 ・ ホームステイ・マッチング
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	13:00 13:34-14:24 15:30	宇都宮駅集合 宇都宮駅から東京駅へ移動 (やまびこ44号) 国立オリンピック記念青少年総合センター着



和田裕二栃木県県民生活部長を表敬訪問する (10月25日)



とちぎ国際交流センターで茶道の体験をする (10月25日)

③群馬県 (SG-C)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	12:40-13:30 15:30-17:00 17:30-19:05	東京駅から高崎駅へ移動 (Maxとき321号) 群馬県副知事表敬訪問 ・ 反町敦群馬県副知事挨拶 ・ Ms. Amornrat Sricham (タイNL) 挨拶 ・ 記念品交換 ・ 記念撮影 夕食 桐生グランドホテル泊
10月26日 (木)	9:25-12:00 12:30 14:00 15:10 17:45 19:00-20:30	ー日本・アセアン青年交流プログラムー サンデンフォレスト訪問 ・ 自販機ミュージアム見学 ・ 自販機工場見学 昼食 Kimono Factoryにいさと訪問 ・ 着付け体験 15:10 山上城址公園散策 ・ 着物ファッションショー ・ 記念撮影 17:45 夕食 19:00-20:30 ガールスカウト桐生支部員との懇談会 桐生グランドホテル泊
10月27日 (金)	9:05-9:40 10:45 11:35-15:50 19:00-20:30	ー日本・アセアン青年交流プログラムー わたらせ渓谷鉄道相生駅～花輪駅乗車 ・ 桐生市役所文化財保護課職員による文化財説明 みどり市旧花輪小学校記念館見学 群馬県立桐生高等学校訪問 ・ 田口哲男校長挨拶 ・ 授業への参加体験 ・ 学生との昼食 ・ 学生とのグループワーク 19:00-20:30 歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (於 ホテルメトロポリタン高崎) ・ 岡村和代群馬青友会会長挨拶 ・ 森平宏群馬県こども未来部子育て・青少年課長挨拶 ・ Mr. Syed Siddek Bin Barakath (マレーシアYL) 挨拶 ・ ホームステイ・マッチング ・ 安達綾乃群馬県受入実行委員長乾杯挨拶 ・ PYによるパフォーマンス ・ 記念撮影
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	12:30 13:38-14:28 16:10	高崎駅集合 高崎駅から東京駅へ移動 (Maxとき320号) 国立オリンピック記念青少年総合センター着



反町敦群馬県副知事を表敬訪問する (10月25日)



みどり市旧花輪小学校記念館を見学する (10月27日)

④新潟県 (SG-D)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	12:40-14:48 15:50-16:30 17:10	東京駅から新潟駅へ移動 (Maxとき321号) 新潟県副知事表敬訪問 ・ 溝口洋新潟県副知事挨拶 ・ Mr. Souvannasing Isala (ラオスNL) 挨拶 ・ 記念品交換 ・ 記念撮影 オリエンテーション・夕食 万代シルバーホテル泊
10月26日 (木)	9:30-16:30 18:00	ー日本・アセアン青年交流プログラムー クロスバルにいがた (生涯学習センター・国際友好会館) 訪問 ・ 越後杉 (間伐材) を活用した箸作り ・ 餅つき ・ 地元青年とのディスカッション (テーマ: 食「主食、朝食、学校給食、など」) 18:00 地元青年と夕食 万代シルバーホテル泊
10月27日 (金)	10:00-13:30 14:00-15:30 18:00-20:00	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 新潟市立丸山小学校訪問 ・ 給食体験 ・ Ms. Dayang Nabilah Binti Masli (ブルネイAYL) 挨拶 14:00-15:30 北方文化博物館訪問 18:00-20:00 歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (於 万代シルバーホテル) ・ 川越由葵新潟県受入実行委員長挨拶 ・ 藤山郁郎新潟県福祉保健部長挨拶 ・ 成澤朗人新潟県青年国際交流機構副会長乾杯挨拶 ・ 地元青年によるパフォーマンス (にいがた総おどり連新舞) ・ Mr. Bui Minh Quan (ベトナムYL) 挨拶 ・ PYによるパフォーマンス ・ 石崎徹衆議院議員挨拶 ・ ホームステイ・マッチング ・ 記念撮影
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	11:30 12:18-14:28 16:15	新潟駅集合 新潟駅から東京駅へ移動 (Maxとき320号) 国立オリンピック記念青少年総合センター着



溝口洋新潟県副知事を表敬訪問する (10月25日)



クロスバルにいがた (生涯学習センター・国際友好会館) で餅つきの体験をする (10月26日)

⑤福井県 (SG-E)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	12:33-15:59 16:30-17:15	東京駅から福井駅へ移動 (ひかり513号、しらさぎ9号) 福井県概要説明 (於 福井県庁) ホテルリバージュアケボノ泊
10月26日 (木)	10:25-11:45 13:00-15:00 15:45-17:50 18:00-19:20	かまぼこ道場体験 (於 安田蒲鉾) 福井県知事表敬訪問 ・ 西川一誠福井県知事挨拶 ・ Mr. Adinegoro Siswondo (インドネシアNL) 挨拶 ・ 記念品交換 ・ 記念撮影 ・ 県庁周辺散策 ー日本・アセアン青年交流プログラムー 福井県立大学訪問 ・ 塚原典央副学長挨拶 ・ Ms. Ng Rong Rong (シンガポールYL) 挨拶 ・ 学内紹介 ・ 学生とのディスカッション ・ 記念撮影 夕食交流会 (於 サニーサイド) ホテルリバージュアケボノ泊
10月27日 (金)	10:00-12:45 13:30-15:00 15:30-17:30 18:30-20:00	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 福井県立恐竜博物館訪問 ・ 学芸員による講義 ・ オーディオガイドによる博物館見学 北陸テクノフェア訪問 (於 福井県産業会館) 鯖江商工会議所訪問 ・ 鯖江市地場産業概要紹介 ・ ディスカッション 歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (於 福井県国際交流会館) ・ 大谷舞福井県受入実行委員長挨拶 ・ 安倍暢宏福井県産業労働部長挨拶 ・ Mr. Jeerawat Ngonmanee (タイAYL) 挨拶 ・ 増永淳子福井県青年国際交流機構顧問乾杯挨拶 ・ PYによるパフォーマンス ・ 記念撮影 ・ 峯田雅朗福井県青年国際交流機構会長挨拶 ・ ホームステイ・マッチング
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	10:30 11:36-15:10 16:15	福井駅集合 福井駅から東京駅へ移動 (しらさぎ58号、ひかり520号) 国立オリンピック記念青少年総合センター着



福井県国際交流会館で歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (10月27日)



福井県立大学で日本・アセアン青年交流プログラムにおけるディスカッション活動 (10月26日)

⑥長野県 (SG-F)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	13:04-14:48 16:30-17:10 18:30-20:30	東京駅から長野駅へ移動 (あさま611号) 長野県副知事表敬訪問 ・ Ms. Lidyawati Binti Hamzah (マレーシアNL) 挨拶 ・ 中島恵理長野県副知事挨拶 ・ 記念品交換 ・ 記念撮影 オリエンテーション・夕食 犀北館ホテル泊
10月26日 (木)	10:00 12:00 13:45-14:50 15:05-16:30 16:50-20:30	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 善光寺散策 ・ 万華鏡作り体験 昼食 (於 善光寺宿坊淵之坊) りんご狩り体験 (於 中村農園) つるしびなを展示している民家訪問、交流 蓮香寺訪問 ・ 抹茶体験 ・ 坊主めぐり ・ 夕食交流会 犀北館ホテル泊
10月27日 (金)	9:45 10:20-12:40 12:55-15:40 18:00-18:30 18:30-20:30	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 上田城散策 長野県上田高等学校訪問 ・ 学校見学 ・ 授業参加 ・ スーパーグローバルハイスクールの取組見学 ・ 学生と昼食 信州大学繊維学部キャンパス訪問 ・ 地元青年とのディスカッション (テーマ:「家族観について」) ホームステイ・マッチング (於 犀北館ホテル) 歓迎レセプション (於 犀北館ホテル) ・ 降旗伸子長野県受入実行委員長挨拶 ・ 高橋功長野県県民文化部次世代サポート課長挨拶 ・ 本多功一 (日本YL) 挨拶 ・ 地元青年によるパフォーマンス (よさこい) ・ 樋口敦子長野県青年国際交流機構会長乾杯挨拶 ・ PYによるパフォーマンス ・ 記念撮影 ・ 山岸真梨子長野県受入実行委員挨拶
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	11:30 11:50 12:27-14:12 15:10	長野駅集合 お別れ会 (於 長野駅) 長野駅から東京駅へ移動 (あさま616号) 国立オリンピック記念青少年総合センター着



中島恵理長野県副知事を表敬訪問する (10月25日)



中村農園にてりんご狩り体験をする (10月26日)

⑦三重県 (SG-G)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	12:50-15:39 17:00-18:10 18:25-20:30	東京駅から津駅へ移動 (のぞみ111号、近鉄1413号) 三重県副知事表敬訪問 ・ 渡邊信一郎三重県副知事挨拶 ・ Mr. Md Ihsan Sabrii Abd Manap (ブルネイNL) 挨拶 ・ 記念品交換 ・ 記念撮影 オリエンテーション・夕食 (於 津市市民活動センター)
		津都ホテル泊
10月26日 (木)	10:00-12:00 12:40 13:30-15:50 16:00-17:20 18:30-20:00	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 講義・ディスカッション「忍者から学ぶ日本の心」(於 ハイピア伊賀) 昼食 (於 上野公園) 伊賀流忍者博物館訪問 ・ 館内見学 ・ 手裏剣うち体験 ・ 忍者ショー鑑賞 伊賀伝統伝承館伊賀くみひも組匠の里訪問 ・ 組紐製作体験 夕食
		津都ホテル泊
10月27日 (金)	10:00-11:30 11:50-12:45 12:50-16:00 18:00-20:30	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 四日市市立博物館訪問 ・ 講義 ・ 展示見学 昼食 じばさん三重訪問 ・ 地元青年とのディスカッション「SDGs (持続可能な開発目標) から考える東南アジアと日本の未来」 歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (於 高田会館) ・ 福永和伸三重県健康福祉部子ども・家庭局長挨拶 ・ Mr. Md Ihsan Sabrii Abd Manap (ブルネイNL) 挨拶 ・ 白木邦貞三重県青年国際交流機構会長乾杯挨拶 ・ 地元青年によるパフォーマンス (よさこい) ・ PYによるパフォーマンス ・ 記念撮影 ・ ホームステイ・マッチング ・ 川村奈穂三重県受入実行委員長挨拶
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	10:30 11:24-14:23 15:30	津駅集合 津駅から東京駅へ移動 (近鉄10号、のぞみ224号) 国立オリンピック記念青少年総合センター着



渡邊信一郎三重県副知事を表敬訪問する (10月25日)



伊賀伝統伝承館伊賀くみひも組匠の里で組紐製作を体験する (10月26日)

⑧大阪府 (SG-H)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	12:50-15:23 18:30-21:00	東京駅から新大阪駅へ移動 (のぞみ111号) オリエンテーション・夕食
		ホテルメルパルク大阪泊
10月26日 (木)	9:25-11:45 12:10 13:45 14:45 15:45-17:00	大阪府副知事表敬訪問 ・ 竹内廣行大阪府副知事挨拶 ・ Ms. Lily Aung (ミャンマーNL) 挨拶 ・ 記念品交換 ・ 記念撮影 ・ 大阪府庁本館庁舎内見学 ・ 府政学習 ー日本・アセアン青年交流プログラムー 大阪城見学 昼食 天神橋筋商店街散策 大阪くらしの今昔館訪問
		ホテルメルパルク大阪泊
10月27日 (金)	11:00-14:15 15:30-17:30 19:00-20:30	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 大阪大学訪問 ・ キャンパス見学 ・ 松野明久大阪大学大学院教授挨拶 ・ 昼食 ・ ディスカッション、学生との交流 ニフレル訪問 歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (於 ホテルメルパルク大阪) ・ 芦田善仁大阪府青少年・地域安全室長挨拶 ・ Ms. Akrimar Tongkaew (タイYL) 挨拶 ・ 上小澤圭那大阪府受入実行委員長乾杯挨拶 ・ ホームステイ・マッチング ・ 記念撮影
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	11:00 11:50-14:23 15:30	新大阪駅集合 新大阪駅から東京駅へ移動 (のぞみ224号) 国立オリンピック記念青少年総合センター着



竹内廣行大阪府副知事を表敬訪問する (10月26日)



大阪大学で学生とディスカッション活動 (10月27日)

⑨徳島県 (SG-I)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	13:40-14:50 16:00-17:00 17:00-17:45 19:00-20:30	羽田空港から徳島阿波おどり空港へ (JAL459便) 徳島県副知事表敬訪問 ・ 海野修司徳島県副知事挨拶 ・ Ms. Divinagracia, Junel Ann Palabrica (フィリピンNL) 挨拶 ・ 記念品交換 ・ 記念撮影 オリエンテーション 夕食懇親会 ザ・グランドパレス泊
10月26日 (木)	9:20-13:20 14:00-16:15 18:00-20:00	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 技の館訪問 ・ 藍染めの歴史、藍染めの工程、地域での利活用など講話 ・ 藍染め体験 四国大学訪問 ・ 書道教育に関する講話 ・ 書道体験を通じた学生との交流 夕食 ザ・グランドパレス泊
10月27日 (金)	9:45-16:00 18:30-20:30	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 月ヶ谷温泉訪問 ・ 合同会社パンゲア野々山聡最高経営責任者CEOによる基調講演 (ごみゼロ運動、 いもどり葉っぱビジネス) ・ 昼食 ・ ごみゼロ運動・いもどり葉っぱビジネス農家視察及び体験 ・ ディスカッション 歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (於 ザ・グランドパレス) ・ 中川雅人徳島県県民環境部次世代育成・青少年課長挨拶 ・ 萩原八郎徳島県受入実行委員長挨拶 ・ Ms. Thavonsouk Phonethavy (ラオスYL) 挨拶 ・ 都築智子徳島県青年国際交流機構参与乾杯挨拶 ・ PYによるパフォーマンス ・ 地元青年によるパフォーマンス (阿波踊り) ・ ホームステイ・マッチング ・ 記念撮影
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	11:45 12:00 13:40-14:55 16:30	徳島阿波おどり空港集合 お別れ会 (於 徳島阿波おどり空港) 徳島阿波おどり空港から羽田空港へ (JAL458便) 国立オリンピック記念青少年総合センター着

⑩長崎県 (SG-J)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	13:00-14:50 16:10-17:00 18:30-19:30	羽田空港から長崎空港へ (SNA035便) 長崎県副知事表敬訪問 ・ 濱本磨毅徳島県副知事挨拶 ・ Mr. Leong Fook Seng (シンガポールNL) 挨拶 ・ 記念品交換 ・ 記念撮影 オリエンテーション・夕食 ホテルニュータンダ泊
10月26日 (木)	9:50-11:00 12:10-14:25 14:40-17:00 17:30-18:30	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 出島交流会館訪問 ・ 長崎について講話 小グループごとに市内散策 (テーマ:「長崎のまちづくり」) グループワーク ・ ディスカッション (テーマ:「長崎の魅力」) ・ プレゼンテーション ・ 記念撮影 夕食 ホテルニュータンダ泊
10月27日 (金)	9:30 11:30 12:00 13:00-15:00 18:00-20:00	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 長崎原爆資料館見学 原爆落下中心地公園、平和公園散策 平和祈念像見学、記念撮影 昼食 長崎市立図書館訪問 長崎県立長崎東高等学校訪問 ・ 野田定延校長挨拶 ・ Mr. Leong Fook Seng (シンガポールNL) 挨拶 ・ 学校見学 ・ 記念撮影 ・ 生徒とのディスカッション (テーマ:「将来の夢」) ・ Mr. Hean Menghuot (カンボジアYL) 挨拶 歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (於 のぞみ会館) ・ 山田あゆみ長崎県受入実行委員長挨拶 ・ 荒木隆いさはや国際交流センター会長挨拶 ・ Mr. Leong Fook Seng (シンガポールNL) 挨拶 ・ 原洋長崎県教育庁生涯学習課長乾杯挨拶 ・ PYによるパフォーマンス ・ 地元青年によるパフォーマンス ・ ホームステイ・マッチング
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	11:30 12:40-14:20 16:00	長崎空港集合 長崎空港から羽田空港へ (JAL610便) 国立オリンピック記念青少年総合センター着



海野修司徳島県副知事を表敬訪問する (10月25日)



四国大学で書道を体験する (10月26日)



平和公園を散策する (10月27日)



「長崎のまちづくり」というテーマのもとグループごとに市内散策 (10月26日)

①北九州市 (SG-K)

月日	時間	活動内容
10月25日 (水)	14:15-15:55 18:00-19:45	羽田空港から北九州空港へ (JAL375便) オリエンテーション・夕食 ホテルクラウンパレス小倉泊
10月26日 (木)	9:30-17:30 18:30	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 北九州市立二島中学校訪問 ・全体交流会、中学生との交流 ・細川瑛代 (日本AYL) 挨拶 ・授業参加 ・給食、抹茶体験 ・掃除の時間体験 ・クラブ活動見学 夕食 ホテルクラウンパレス小倉泊
10月27日 (金)	9:00 11:30 13:30 17:30 18:30-20:15	ー日本・アセアン青年交流プログラムー 環境ミュージアム見学 寿司学校訪問 寿司作り体験と昼食 ディスカッション「水、海、そして私たち」 北九州市表敬訪問 (於 ホテルクラウンパレス小倉) ・江副春之北九州市子ども家庭局長挨拶 ・Mr. Tran Trung Hieu (ベトナムNL) 挨拶 ・記念品交換 ・記念撮影 歓迎レセプション及びホームステイ・マッチング (於 ホテルクラウンパレス小倉) ・江副春之北九州市子ども家庭局長挨拶 ・Mr. Pattaguan, Jezreel Malamug (フィリピンYL) 挨拶 ・ホストファミリー代表上谷雄一乾杯挨拶 ・地元青年によるパフォーマンス (小倉祇園太鼓) ・秋吉和代北九州市受入実行委員長挨拶 ・ホームステイ・マッチング
10月28日 (土)		～終日ホームステイ～
10月29日 (日)	11:00 12:50-14:30 16:00	北九州空港集合 お別れ式 (於 北九州空港) 北九州空港から羽田空港へ (JAL374便) 国立オリンピック記念青少年総合センター着



北九州市立二島中学校を訪問する (10月26日)



環境ミュージアムで日本・アセアン青年交流プログラムにおけるディスカッション活動 (10月27日)

2 参集式・歓迎レセプション

10月24日12時から、ホテルニューオータニ東京「鳳凰の間」において、第44回「東南アジア青年の船」事業参集式を行い、続いて13時から歓迎レセプションを行った。参集式では、始めに松山政司内閣府特命担当大臣から挨拶があり、続いてPYを代表してMr. Muhammad Hanis Bin Haji Osman (ブルネイYL) が挨拶した。

歓迎レセプションでは、松本文明内閣府副大臣が挨拶し、その後、幸田徳之内閣府審議官が乾杯の発声をした。各国NLとPYは、第44回「東南アジア青年の船」事業の始まりに心を新たにしつつ、初めて会う友人たちと歓談を楽しんだ。

3 基調講演

ERIKO (モデル、定住旅行家)

今回は、内閣府青年国際交流事業に関わるこのような素晴らしい機会をいただき、心から感謝しています。また、皆様ともこういったご縁を持たせていただき、とても嬉しく思います。

本日私がお話することは、私が現在している活動の話が中心です。その中で、これから皆さんが乗船される活動の何か役に立てる部分があれば良いと思います。



■「定住旅行家」

私は、もうかれこれ15年以上モデルとして活動しており、それに加えて5年ほど前から、「定住旅行家」という肩書きを自ら称してライフワークにしています。

まずは自己紹介を兼ねて、私の活動についてお話しします。

「皆さんは旅が好きですか？」

皆さんが旅に出かけるときのことを思い浮かべてほしいのですが、どういった時に、何を求めて皆さんは旅に出かけられるでしょうか。多分多くの方が、例えば、ちょっと日常から離れてみたいとか、美味しいものを食べたいとか、きれいな景色を見たいとか、ちょっと今の生活から少し離れたたいというような気持ちで、幸せを求めて旅に出かけることが多いのではないかと思います。

私は一年の半分以上を海外で過ごしているのですが、私が旅へ出る理由は、現実を見るためです。現実とは、人々の生活、生き方、日常などです。これまでに約40か国で定住旅行をさせていただきました。また、日本国内でも定住旅行をしています。

現地では何をしているかという、まず、ホテルなどの宿泊施設には一切泊りません。全部ホームステイです。なぜかという、私の旅の目的は、快適さやストレス発散などではなく、現地の人の生き方や生活を見るためだからです。

一つの国で、その国の大きさにもよるのですが、大体2~3か所の家族のところまで生活をして、一つの家庭に大体10日以上はステイするようにしています。

これまで74家族と、本当にいろいろな家庭に滞在し、都会の本当にお金持ちの家から、電気、ガス、水道もないような先住民族の村まで様々な場所に滞在させていただきました。実際に行ってみないと、どんな家族のところか分らないのですが、どこの人も、食べて、寝て、仕事をして、という基本的なサイクルは変わらないので、特に今まで困ったことはありません。

毎回家族をどうやって見つけているかという、日本にいる間に見つけるようにしています。これまでその国へ行ったことのある友人や精通している人にコンタクトを取って、旅の主旨を説明し、受入れてくれる家族を紹介してもらいます。見つからない場合は、駐日大使館や政府観光局を訪ねて、協力してもらうこともあります。最近はインターネットでホームステイ先を探したりするマッチングサービスを、皆さん御存じかと思いますが、そういったものは使わないようにしています。なぜ使わないかという、確かに簡単に見つけられると思いますが、私は繋がりをすごく大切にしたいと思うからです。自分の知り合いを通じて知り合った人というのは、そこに物語が生まれると思いますし、信頼性も高いので安全を保つことができます。

滞在期間などもきっちり決めて渡航するので、バック

バックカーのように今日はこちらに行こうか、明後日はこちらに行こうかということではなく、しっかりと予定を決めて計画的にホームステイを行っています。

これまで滞在先でのトラブルなどはほとんどありませんが、二度ほど、家を追い出されたことがあります。それはラテンの国だったのですが、滞在先の奥さんが私に嫉妬してしまい、予定より早く追い出されてしまったということがありました。それもお国柄がよく出ているなと思いました。

私はホームステイの教室に通ったわけでも、ホームステイの達人に弟子入りしたわけでもなく、自分の経験でホームステイを積み重ねて今に至っています。

現地の家庭で何をしているかという点、基本的に家族の生活に同行させていただいていますので、例えば、家族が働いている職場にお邪魔したり、子供さんがいればその子の学校を訪問したりしています。学校へ行った時は、せっかくの機会ですので、日本のことや私の出身である鳥取県のことをお話させていただいたりもしています。

また、何度も同じ国や地域を訪問することもあるので、一度、ネパールで絵の交換プロジェクトというのを行ったことがあります。日本の小学校とネパールの小学校で絵の交換を行わせていただきました。



どうしてわざわざこんなこともやっているのかというと、家族の中だけではなく、職場だったり、学校だったり、公の場、あとは近所づきあいといったような、様々な角度から、その人たちの暮らしを見つめることで、その国の姿だったり社会というものが立体的に理解できるようになるからです。また、自分の意思では望まなかったところに行くことができるので、自分の興味以外のところで様々な物事を知るきっかけを得ることができると思っています。

知るということはずごく大切なことだと思うのですが、知るということにたどり着くまでに、私は三通りあると思っています。一つは、まず自分が興味を持つことです。もう一つは、アクシデント的に自分が望まなかったことが目の前で起こることです。あともう一つは、人からの頼まれごとです。頼まれごとの良いところ

は、自分も新しい体験ができて、頼んだ相手も喜んでもらえるということです。

定住旅行は必ず一人で行くようにしています。誰かと一緒に行ってしまうと、どうしてもその人と過ごす時間や話す時間が増えてしまうからです。なるべく現地の人と多くの時間を共有したいと思っていますので、私はいつも一人で出かけるようにしています。

現在は、日本にいる時間と定住旅行へ出かけている時間はちょうど一年の半分半分で、日本にいるときは自分の体験をいろいろなメディアでシェアしています。そして、次の定住旅行の準備であったり、また、大学で今、文化人類学の勉強をしたりもしています。そして、公的機関でもこのような仕事をさせてもらっています。

活動の理由はいろいろありますが、一番の理由は、まず人と関わることが好きだからです。人と会うことですね。私たちは、その出会う人たちから大きな影響を受けます。そして、その人たちの生き方を見て、自分を振り返ることができます。極端かもしれませんが、今の自分たちの人生というのは、これまでに私たちが人生で出会った人たちからの影響によってできたものと思っています。私は、そのいろいろな人たちの生き方や生活に出会うため、旅に出かけています。

■ホームステイとは

今回皆さんが参加される事業は、皆さんにとって貴重な体験になると思います。私の活動と皆さんの事業の内容で共通する部分にホームステイがあります。私のホームステイの経験をシェアさせてもらうことで、何か皆さんのお役に立てたら良いと思います。

皆さんは、そもそもホームステイにどんなイメージをお持ちでしょうか。私の考えるホームステイというのは、次のとおりです。

まず一つ目が、他人のテリトリーに入っていくことです。ホテルなどの宿泊施設では私たちがお客様という扱いになるとは思いますが、ホームステイの場合は、自分たちから受入れてもらうように歩み寄っていくということがすごく大切になっていくと思います。

もう一つが、学ぶ場所ということです。ホテルなどに泊まると皆さん快適さを求められると思いますが、ホームステイは私にとっては学ぶ場所です。生活習慣の違いを受入れて、基本的には与えられた場所で寝て、与えられたものを食べるということです。自分の思いどおりにいかないこともあると思いますが、そこで自分を変える努力を経験することがホームステイの醍醐味だと思っています。

そしてもう一つが、人間関係の距離が非常に近いです。利害関係が発生しない分、お客様と自分ではなく、人間と人間との関係になります。

■キューバでのホームステイ

これまで、私は40か国で74家族と生活をしてきました。今日はその中でも2つの家族とのエピソードをご紹介します。

まず一つ目は、キューバです。キューバは人口約1,100万人です。カリブ海に浮かぶ島で、日本の本州の半分くらいの土地の広さを持っています。言語はスペイン語が話されています。宗教は、カトリックとサンテリアという宗教が主に信仰されています。

資源は人的資源で、高い識字率を誇り、医療の無償サービス、教育などが盛んに行われ、あとは観光業も盛んで、鉱物もたくさん採れます。そして産業は、タバコ、葉巻、コーヒー、さとうきびなどです。

首都のハバナは、中南米の中では治安がとても良い方だと言われています。

どんな人たちが暮らしているかという点、白人が50%、黒人が50%です。その中にムラートと呼ばれる人たちがいるのですが、このムラートは白人と黒人のミックスになります。

通貨は二つの種類が流通していて、観光客や外国人が使用する通貨CUCと、現地の人が使用している通貨キューバペソがあります。私たちが観光で行くときにはCUCを利用します。

こちらが私が滞在させてもらった家族、アラカワさん一家です。



アラカワというのは日本の名字ですが、真ん中に座ってらっしゃる方が日系2世で、お父さんがキューバにやってきた方です。このサダミさんと、右に座ってらっしゃる娘さんと、息子さん家族の3世帯が同居してらっしゃいます。

皆さん御存じだと思いますが、キューバは社会主義国ですので、私たちの社会システムとは少し異なっています。皆さん、キューバ人の一か月の給料を御存じでしょうか。一般人の給料は約10USドルです。では、そんな給料でどうやって生活をしているのかと聞くと、まず、キューバは食料配給制度があります。ボデガ（食料配給所）と呼ばれる場所で、食料と交換します。各家庭に小さいリーフレットのようものが配られ、その

中に、玉子とかパンとか小麦粉とかパスタとか交換できるものが書いてあります。肉類や魚類はたまに配られることはありますが、基本的には購入しなければなりません。

私が行った時は夏で、気温42度くらいでしたがエアコンはありませんし、5階建てだったのですが、エレベーターも動いていなかったので階段を使っていました。水も断水になることがほとんどで、バケツに水を貯めて、そのバケツにたまった水でシャワーを浴びたり、手を洗ったりしていました。

家族が信仰している、サンテリアという宗教の祭壇のある部屋は、家族の中では非常に大切な部屋でした。

皆さん、日本や他の国と比べたら、少し不便な生活だと感じたかもしれません。新しい物を買うのも非常に難しいですし、物価も少しずつ高くなっていますので、なかなか物を購入することができません。その代わり、キューバ人はたくさんの知恵や工夫を持って生活しています。例えば、物が壊れたらどうやってそれを直すかというのを知っていますし、家では観葉植物がたくさん植えてあったのですが、それは全て薬として使われていました。制約された環境の中で生活していると、こういった努力や工夫が必要になってきますし、いろいろなアイデアを生みやすい環境にあるのだと思います。

その中でも私が一番衝撃を受けたキューバ人の工夫があります。それは「笑顔」です。

ある時、家族に「こういう生活でつらくはないですか?」と聞いたことがありました。そうしたら、家族は「つらいことだらけよ」と答えました。いろいろな日常のことを話してくれたのですが、例えば、給料だけでは生活できないこととか、子供がパソコンを使って仕事をしたいと言ってもインターネットがなかったりとか。「では、どうしてそんな大変な状況にありながらも、そんなに幸せに明るく生きていられるんですか?」と聞いたら、家族はこう言ったのです。「つらいからこそ笑顔でいる価値がある。それが大切だ」と。

私は、ラテンの国に行く前に、彼らはもともと明るい性格だと思っていたのですが、そうではなく、つらいことがたくさんあるからこそ笑顔でいるという彼らの努力だったと知ったのです。

これが、キューバの滞在から私が学んだ大切なことの一つです。

■ネパールでのホームステイ

次は、ネパールです。

ネパールと日本はとても深い関係にあります。たくさん国際協力も行っていますし、ネパールにとって、日本は初めて海外留学生を派遣した国です。私は、最初にネパールに行った時、こんなにたくさんのいろいろな人種の人と一緒に暮らしているということにすごく驚きま

した。ネパールには大体38民族が住んでいて、69言語が話されているといわれています。私は個人的に山がすごく好きで、ネパールの山岳地帯に住んでいるシェルパ族のところにホームステイをさせてもらいました。

シェルパはもともと、チベットから16世紀に南サガルマータに移住してきたと言われている民族です。クンブ地方に定着した彼らは、標高差のある地形に適した農耕と放牧を行いながら、チベットとインドの間の交易を行ってきました。

シェルパというと、皆さんは荷物を持っているガイドさんというイメージを持っている人が多いと思います。しかし、シェルパというのは一つの民族で、このシェルパという言葉が一人歩きしたのは、二人の男性が人類で初めてエベレストに登った後からです。エドモンド・ヒラリーさんというニュージーランド人、そして、テンジン・ノルゲイさんというシェルパです。1970年以降にトレッキングブームがおき、世界中からたくさんの登山家やトレッカーたちがヒマラヤを訪れるようになりました。それで、彼らの仕事も増え、経済水準もすごく上がっています。登山に従事しているシェルパの人たちは基本的にはシーズンワーカーで、登山シーズンの時期だけ働いて、他の時間は家にいて畑仕事をしたり、語学学校に通って仕事にいかせるスキルを学んだりしています。

私が滞在していたのは、シェルパがたくさん住んでいるクムジュン村で、こちらが家族のソナム家です。



ソナムさんはロッジを経営していて、奥さんも畑仕事をしながらロッジの手伝いをしています。彼らには二人の子供がいて、息子は大学生で首都のカトマンズに通っていて、娘はアメリカに留学中です。

ソナムさんの1日ですが、シェルパの人たちは仏教を信仰していて、朝はまず祭壇に拝みにいきます。それからロッジの掃除をしたり、接客をしたり、畑仕事をしたりします。そして、この家も水が出ないので、2km離れたところまで水汲みに出かけていました。私もお風呂に入ったのは10日間滞在して1回だけでした。そして、夜になると大体マイナス2〜3度くらいまで気温が下がりますが、暖房器具はあってもつけません。ヒーターをつ

ける燃料が非常に貴重なものなので、本当に寒い日しかつけません。

初めてこの家に行った時に、彼らとすごく距離がありました。それはなぜかという、シェルパの人たちにとって外国人は観光客もしくはトレッカーというイメージしかないからです。私は、本当に家族の一員になりたかったので、いろいろな努力をしました。その彼らと一気に距離が近づけた出来事があったのですが、その一つは私が食事を手で食べたことです。ネパールの人たちは手で食べるのが一番おいしいと言います。確かに手で食べるのが一番おいしいのですが、私はずっとスプーンを使って食べていました。ある時、手を使い始めてからすごく喜んでくれて、いろんなことを話してくれるようになりました。そして、彼らの生活の様子を見て何か自分にはできないことはないかと探し始めました。家族に「何か手伝うことがありますか？」と聞かずに、例えば、じゃがいもを耕しに行ったり、洗いものをしたり、自然に手伝うことをしました。すると、「この子は違和感がない、自然だ」というように思われ、非常に家族になじむことができました。

あともう一つ、距離が近づいたことがあったのですが、それが、私がシェルパの衣装を着たということでした。食べるものや着るものは生活に密着していますし、その人たちが日常でしていることですので、それと同じことをすると、彼らも嬉しかったみたいです。

■ホームステイで大切にしていること

今話をさせていただいたのは、たくさんある中の二つの例ですが、私がホームステイをする時に、どの家庭でも行っていることがあります。

まず一つ目は、相手が大切にしているものを大切にすること。例えばキューバでは、サンテリアの部屋や、家族によってはペットであったり、キリストの像であったり、いろいろなパターンがありますが、彼らが大切にしているものを自分も大切にするという姿勢を見せると、一気に信頼感が生まれます。私は日本でも定住旅行をしていますが、日本で定住旅行をする際には大体仏壇に手を合わせるようにしています。

二つ目は食事です。これはすごく不思議なのですが、例えば、その国の文化や習慣が自分に合わないということを家族に伝えてもそんなに大きな問題になりません。ただ、食事ということになると、ちょっと薄い壁のようなものができてしまうことがあります。それは、人間というのはその土地でできたものを食べて生きているので、その土地の食べ物自体が自分と結びついているということがあると思います。例えば、皆さんも想像してもらいたいのですが、外国の人が自分の国に来て、自分の国の食べ物をおいしい、おいしいと言ってたくさん食べていたら、自分には何も利益はなくてもうれしい気持ち

になると思います。それぐらい食事というのはマジカルな力を持っていると思います。私も、これまでは大体問題なく食べていますが、一回アルマジロが出た時、それは食べられませんでした。その時は、食べられませんと丁寧にお伝えするのが良いと思います。

三つ目は個性を出すことです。自分がその場所において、優等生のように家族に言われたことを全部やって、家族が言うことを聞いているだけでは、向こうからすると、情報を全部伝えて、それを持って行って内に留めてしまうというような印象があります。そこにいることによって、物質的ではない価値を相手に与えること。相手に聞きたいことばかり聞いては、情報搾取のような状態になってしまいます。何でも相手に合わせる優等生ではなく、自分という個性を出して、自分の価値を相手にどれだけ与えることができるか、これが一緒にいて楽しい時間を作り出すことができることだと思います。そのためには、自分をさらけ出すことが大切です。それが、また会いたくなる関係作りにも繋がると思います。

今回二つのホームステイ体験をご紹介させていただきましたが、どちらも決してすごく快適というわけではありません。ただ、家族と一緒に過ごした時間から自分が学んだことがたくさんあります。それをまた、日本に帰って私の生活に活かすことができているし、様々な視点から物事を捉えられるようになりました。

世界には本当に多様なライフスタイルが存在しています。皆さんも今回の事業の中で、いろいろな国の人と触れ合い、ホームステイをされるとと思います。楽しく過ごせる時もあれば、文化や宗教の違いに戸惑ってしまうこともあると思います。こんなはずじゃないと思うような

こともあるかもしれません。私もベッドにゴキブリが出てきたことも、壁のない部屋で寝たこともありますし、宗教差別や人種差別を受けたこともあります。

でも、何があっても、皆さんにとっても、私にとっても、これは唯一の体験です。その経験は、必ず自分の糧になってきます。皆さんもぜひ学ぶという姿勢を持ってホームステイを楽しんでほしいと思います。

私がホームステイや国際交流って素晴らしいと思うのは、自分と関わった相手の国のことが、例えば、ニュースで出たり、何かで聞いたりすると、自分のことのように思えることだと思います。また、観光では感じられないような繋がりを覚えることができますので、自分の中に第二の故郷を持ったような気持ちになると思います。

そして、人の生きる姿を見て自分の生き方と重ねたり、振り返ったりすることで、これから船を降りた後、どう進んでいこうか、どう歩んでいこうかという参考になると思います。

ぜひ、楽しんできてください。ありがとうございました。

